



社団法人京都馬主協会
会長 大八木信行

拝啓 盛夏の候、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

先の平成23年2月21日に開催致しました定時会員総会及び理事会におきまして、会員の皆様のご信任を頂き会長に再任されましたこと、衷心よりお礼申し上げます。

この度の東日本大震災における東北地方の惨状は地震・津波だけにとどまらず、福島原発の放射能漏れという大きな二次災害をももたらしました。尊い命を亡くされた方々に対しご冥福をお祈り申し上げますとともに、未だ避難生活を余儀なくされている多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、競馬をとりまく環境も6月26日現在、売得金1兆1,009億6,946千万円余（対前年比89.6%）と非常に厳しいものとなっております。震災の影響で競馬の開催日数が22日中止となり、その内17日は振替競馬を実施、残り5日も秋季競馬にて振替が発表され年間288日開催出来る運びとなり安堵しております。

また、6月に予定しておりました海外セミナーが東日本大震災の発生に伴い延期となったことにつきましては、楽しみにして下さった会員の皆様と同様に大変残念に思っておりますが、どうかこのご時世を理解して頂き、新たに企画の節には、ぜひご参加下さいますようよろしくお願い申し上げます。

また、本会の法人移行について、皆様ご存知の通り、平成20年12月1日に施行された「新公益法人法」に伴い、平成25年11月30日まで一般社団法人が公益社団法人へのいずれかに移行することになります。本会におきましては特別委員会を設置し、理事会等で慎重に検討を重ねた結果、一般社団法人として今後の移行準備を進めることを了承し、本年2月21日開催の定時会員総会において承認されました。今後、新定款の内容が固まり次第、臨時会員総会のご案内をさせていただきますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げる次第でございます。

最後となりましたが、我が国は震災復興の真っ只中にあり、危機的状況にあることは否めませんが、決して俯くことなく、常に前を向いて京都馬主協会の責任を全うすべく、会員全員一致団結して邁進して参りたいと存じます。会員の皆様のみならずご健勝とご愛馬の活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。 敬具